

令和4年度 新入職員歓迎式理事長訓示(令和4年4月4日)

- 理事長の小口です。
- 本日、夢と希望に満ちた思いで、皆さんのような若い新しい力を原子力機構の仲間として迎えることに、大きな喜びを感じております。
役職員一同、お祝いを申し上げますとともに、心より皆さんを歓迎いたします。
本来であれば、新入職員の皆さんが一堂に会した場で歓迎式を開催するところですが、一昨年からの新型コロナウイルス感染症への対策として、それぞれの配属拠点に分散していただき、オンラインによる歓迎式といたしました。
皆さん全員と直接お会いすることができないのは大変残念ですが、皆さんを迎えるにあたり、わたくしから、皆さんに期待すること、それから、職員として心に刻んでいただきたいことを申し述べます。
- 本日、皆さんは、それぞれに喜びと不安が入り混じった気持ちでおられると思います。
皆さんを受け入れる配属先では、皆さんを無限の可能性を秘めた新戦力として大きな期待をもって待っています。
- 日本原子力研究開発機構は、我が国唯一の原子力に関する総合的な研究開発機関です。原子力技術は、我が国を支える基盤技術であり、さまざまな研究分野、技術分野で日々活動を行っております。皆さんの若々しいエネルギーで更に一層前に進めていただきたいと思います。
- 原子力機構は、数ある独立行政法人の中でも研究開発に特化した「国立研究開発法人」です。その第一の目的は、「研究開発成果の最大化」であり、一定の自主性が認められる一方で、目的を着実に達成することが求められています。
そのため、

「適正、効果的かつ効率的な業務運営の確保」、
「課題解決などのアウトカムの創出」、
「国民に対する説明責任」
が強く求められています。

○ こうした目的に沿って、わたしたちは、研究開発成果の創出はもちろんのこと、国際競争力を強化しながら、さまざまな政策的な課題を解決し、我が国の科学技術の水準の向上に貢献していくという使命をもっています。

○ 原子力機構が重点的に取り組んでいる分野としては、
「高速炉・新型炉および核燃料サイクルの研究開発」、
「原子力の安全性向上のための研究開発」、
「放射性廃棄物の処理・処分技術開発」、
「原子力施設の廃止措置」、
それから、新たな問題として、「東京電力福島第一原子力発電所事故への対応」が挙げられます。

さらに、これらを支える基盤的な技術、基盤的な研究も欠かすことはできません。

また、研究だけでこの大きな組織が成り立っているわけではなく、これを支えるさまざまな管理部門を含めたサポート体制も重要です。

○ こうした課題や業務に取り組んでいくうえで、原子力機構の一員となる皆さんに、二つのことを申し上げたいと思います。

○ まず、ひとつ目は、原子力機構のミッションである「原子力科学技術を通じて、人類社会の福祉と繁栄に貢献する」ことを心に刻んで職務に取り組んでほしいということです。

○ 今後、皆さんには、さまざまな業務が待っています。その業務ひとつひとつが、「原子力科学技術を通じて、人類社会の福祉と繁栄に貢献する」ことにつながっていることを理解してください。

わたしたちは、この使命を果たすために、全職員が共有すべき信条として「高い志、豊かな発想、強い意志」という三つのスローガンを掲げています。

夢や希望を持って今日を迎えられた皆さん一人ひとりが、この「高い志、豊かな発想、強い意志」をもって事に臨むことで、必ずや夢や希望は達成できるものと確信しています。

- ミッションを達成するためには、組織としての知的能力、組織 I Q を高めることも必要です。

皆さんには、組織内外の情報を迅速に取り入れ、組織の中で適切に情報共有することで、実行可能な意思決定を行えるよう、果敢に取り組んでいくことを期待します。

- 二つ目は、今の気持ちを忘れることなく、社会人として、原子力のプロとして、チャレンジし続けてほしいということです。

- 原子力機構では、将来ビジョン「JAEA 2050 +」を策定し、将来の気候変動問題の解決、エネルギーの安定確保、未来社会 Society5.0 の実現に向けて、これまでに培った技術やノウハウを積極的に活用し、皆さんとともにアグレッシブに取り組んでいく「新原子力」の取組によって社会への貢献を目指します。

- この「新原子力」を実現するために、原子力機構では、一昨年「イノベーション創出戦略」を改定し、社会への貢献を目指したイノベーション創出の組織を強化することとしています。

- 原子力機構で働こうと決めた皆さんの心強い決意、今の気持ちを忘れることなく、新たな分野にも果敢に挑戦し続けてほしいと思っています。

- 最後に、皆さんは、原子力機構の将来を担う職員として、内外から大きな期待と注目を浴びています。

そのことを十分に認識し、社会人としての自覚をもって、常に良識ある行

動を心掛けてください。

また、何事においても基盤となる体力、健康が極めて大切です。皆さんの持てる力を存分に発揮できるよう、健康には十分留意し、新しい風を職場に吹き込んでください。

- 皆さんのこれからの活躍を心から祈念して、わたくしからの言葉とします。

以 上